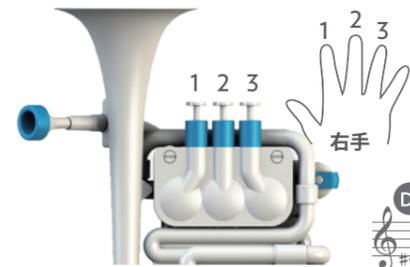


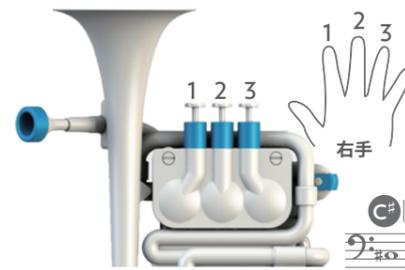


運指表 in B \flat

jHornの運指は基本的なB \flat トランペットやユーフォニアムとほぼ同じです。
 チューニングB \flat (運指表C)の長3度上のD(運指表E)を推奨しております。
 *替え指は使用できません。できるだけシンプルな形状にこだわり、管内のレイアウトも
 金属楽器とは異なるため想定していません。
 jHornは記譜よりも1オクターブ低い音が鳴ります。
 B \flat トランペットに持ち替えただ際に楽譜の移行を
 容易にできるように考えました。
 ト音記号の下にある"8"は1オクターブ下を意味します。



運指表 in C



in B \flat と in C 表記について

	in B \flat	in C
音符	C	B \flat
アルファベット	C	B \flat
運指	開放	開放



*どちらも同じ「B \flat 」音を発音した際、
 運指表 in B \flat で覚えた場合、楽譜「C」/実際の音「B \flat 」
 運指表 in Cで覚えた場合、楽譜「B \flat 」/実際の音「B \flat 」
 の違いがあります。Nuvoは、最初にへ音記号の
 運指表 in Cで覚えることを推奨しています。



jHorn

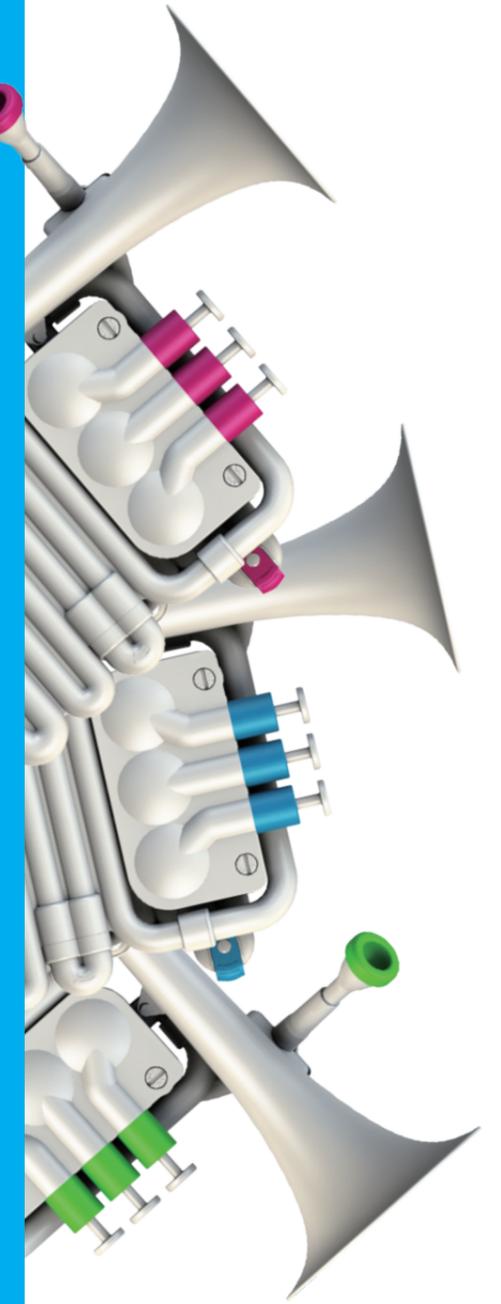
新しい物作りの挑戦

明確なビジョンを持ち、私達にとって初めての
 金管楽器を作り出すことにしました。
 他の NUVO 楽器のように、当初の目的は小中学生の
 初心者でも吹ける楽器を作ることでした。
 しかし、アマチュアの金管楽器奏者のための
 楽しい練習用楽器としても提供しつつ、若い
 初心者にインスピレーションを与えるレベルの
 楽器を作りたいと思いました。

学校で使用する楽器は、軽く、丈夫、そして簡単に
 手入れができるものである必要がありました。
 また、バルブオイルをなくすことも試み
 成功しました。それにより小さいお子様が、
 オイルを口にに入れてしまう心配がありません。
 3種類のマウスピースカップの深さ
 LOW / MIDDLE / HIGHの中から吹きやすい
 マウスピースを選んで頂けるようになっています。

最後に、jHornをご購入頂き誠にありがとうございます。
 私達の新しい物作りの想いに共感していただければ
 幸いです。NUVOの製品を世界中の方々に使って
 頂ける事を嬉しく思います。

Max Clissold,
 Head of Design and CEO



FEATURES AND BENEFITS 概要

ABS樹脂の本体

軽くて丈夫、簡単な手入れ、そして完全防水です。

軽くて押しやすい

小さな指の方の長時間の練習が楽になります。

選べるマウスピース

初心者が吹きやすいタイプを選べるように、LOW / MIDDLE / HIGH 3種類のマウスピースを用意しています。

コンパクトで「抱きしめられる」デザイン

若い初心者の方に簡単な「抱く」形のjHornは持って際にしっかり安定します。

シリコンウォーターバルブ

バネはなく、メンテナンスもさほど必要のない安心できるデザインです。

ロータリーフェイスバルブ

簡単な手入れができるバルブは、バルブオイルも必要ありません。

B♭とCチューブ

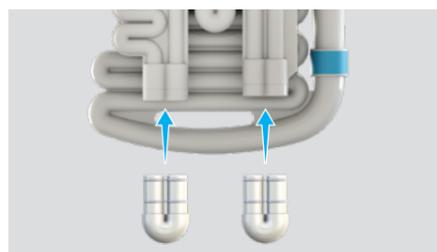
jHornはB♭とC両方のチューブが付属されており、WindStarsカリキュラムや通常の金管奏法にも理想的です。

TUNING チューニング

多くの金管楽器はB♭でチューニングされているので、下記の図のB♭チューブがはじめに取付けられています。コンサートピッチに設定できるようにCチューブも付属しています。これは小学生/中学生のWindStarsプログラムに最適です。

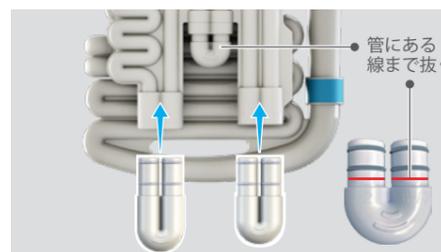
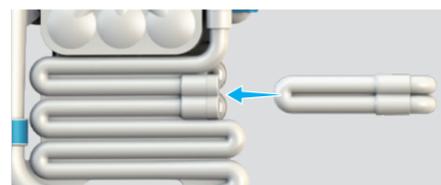
Cチューブ

* 実音は運指表の記譜より1オクターブ下がります。



B♭チューブ

* 実音は運指表の記譜より1オクターブと長2度下がります。



CLEANING AND MAINTENANCE クリーニング&メンテナンス

jHornは100%ウォータープルーフで、温かい石鹸水に浸けて洗って頂けます。

バルブの分解方法



バルブカバー①のロックを10円硬貨のコイン等を使って左に回し、ネジ溝が縦になる位置で止め②のタブを持ち上げ、カバーを外します。



ステムジョイントが動かない様に固定し、③のバルブステムロックを左に回し取り外します。

* ③は小さなパーツですので紛失・誤飲にご注意ください。

組み立て方



ステムジョイントとバルブにはそれぞれ1~3の数字が彫られており向かって左から順に1・2・3と分解の逆手順で組み立てます。

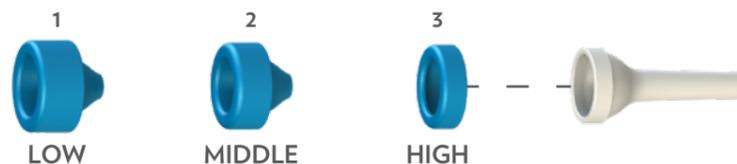
* それぞれが独立した形状のため入れ替わると正常に機能しません。

バルブステム先端のピンと、バルブにあるスロットを合わせながら引き抜きます。楽器全体を温かい石鹸水で洗い流してください。組み立てる前にバルブに異物等ないか確認してください。

MOUTHPIECE マウスピース

jHornは、3種類のカップ LOW / MIDDLE / HIGH から自分にあったものを選べるユニークなマウスピースが付属しています。シリコンリムとカップはマウスピース本体にはめ込むことができ、カップの特徴は下記の通りになります。

- 1.) Low タイプ (深い) : 暗めの音色で低音域が出しやすくなります。
- 2.) Middle タイプ : 標準
- 3.) High タイプ (浅い) : 明るい音色で高音域が出しやすくなります。



マウスピースはフレキシブルな装着フィーリングで設計されておりますので、軽く捻じ込んで装着してください。*無理な力で捻じ込んだり、マウスピースを装着したまま長期間放置されますと外れなくなる場合がございます。



小さなパーツがあるため、3歳以下のお子様には適していません。

2019 NUVO Instrumental (Asia) Ltd. All rights reserved. Manufactured in China by NUVO Instrumental (Asia) Ltd. Hong Kong

特許申請中

EMBOUCHURE アンブシュア

金管楽器の音を出すための口の作り方 (アンブシュア)

*アンブシュアは個人差があります。うまく発音できないと感じた方はこちらを例にお試しください。

- ① 口を自然に閉じます (上唇が下唇をやや覆う様に)
- ② 下唇の境目がリムバイト下部に沿う様にマウスピースに当てます。
- ③ できるだけ小さな穴で口の中の空気を出します。
- ④ 音が鳴るポイントを探し、「ぴー」と雑音 (息の音など) の少ない音を目指します。



【探し方】

- ぷっぷっぷっ...と短い息を入れ、鳴らしやすいポイントのアンブシュアを覚えます。
- ①の上唇の位置を変え、空気の出す方向を前や下向きにしてみる。[*ほんの少しずつ変える]
- ②の当ててる位置を上や下に変えてみる。[*ほんの少しずつ変える]
- 「ぴー」ではなく「プー」という雑音 (息の音など) が出る場合は口の力を一旦抜き、③の穴を小さくすることを意識して、音量も小さくしてみる。鳴るポイントやコツがつかめれば、少ない息でもキレイに発音できます。

【高い音を出すためには】

- アパチュア (息が出る口の穴) が小さい
 - 唇が振動する範囲が狭い
- これらが必要な条件です。

- ⑤ 口を左右に引きます。
- ⑥ 口の端 (口角) の内側と、お歯を密着させます。[*ハイトーン時重要]

⑤と⑥を行うことでアパチュアと振動範囲を作りやすくなることことができ、ハイトーンと呼ばれる高い音域 (high B♭以上) の音も自然と出るようになります。慣れるまでは口がつかれ、口周辺の筋肉が痛くなる場合がございます。口周辺がつかれるとくちびると歯が離れて音が出辛くなるため、適度に休憩をはさみましょう。

CASE ケース

① 肩掛け



ストラップを上2箇所固定

② 斜め肩掛け



ストラップを斜めに固定